

安中藩領・長吏等役人の盗賊逮捕・吟味事件簿--近世・関東警察法制史関係文書

著者	荒井 貢次郎
著者別名	K. Arai
雑誌名	東洋法学
巻	22
号	2
ページ	p21-65
発行年	1979-04
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00006050/

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

——近世・関東警察法制史關係文書——

荒井貢次郎

翻讀に一言

ここで稿となった未刊の新資料は、群馬県安中市に保存されてきたものであつて、同和關係資料として貴重な古文書である。この史料が現在、成稿となるためには、同市に在住する地方史研究者・中沢多計治氏の援助にまつところ多大であつた。資料には、原文に句読点、返り点を施し、変態仮名も一部・現行の仮名に改めた。古文書を資料として紹介することを先きにし、内容の考察は別稿によることにした。無宿の口糊をしのぐために雑芸、例えば、辻咄をして錢を貰うか、人足稼・日傭取りとなり、または乞食をし、願人や乞食遍路をして喜捨を受け、これが生活の費となつている。野宿をするなど、野臥り（山窩的な野宿）をしていることも、放浪生活者の類型を見てとることが出来る。願人、遍路の物貰いで盜賊をしないで済ませるといふこの辺の消息は、「渴しても盜泉の水は飲まず。」との諺のように、乞食と盜賊の限界のあることがわかる。

資料

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

○天明八年十二月、安中藩・中宿村・長吏・召捕候盜賊吟味一件、天明九年正月、長谷川平藏様御組・引渡江無宿一件……………帖・一

—26.5cm—

天明八甲年十二月

(朱書)
此一件伺書等夫々行候

(朱書)
此方御仕置追払候

宮崎・無宿・庄五

上州・無宿・糸八

繁藏

奥州・無宿・

茂兵衛

(朱書)
坂本宿・盜賊宿
久五郎吟味一件

(朱書)
此方御仕置

信州・無宿・富藏

(朱書)
松代・無宿・竹藏
藤沢・無宿・久作

(朱書)
不見此一件可留

天明九年

酉正月

長谷川平藏様御組江

(朱書)
引渡 無宿 六名

半紙・二っ折・七一枚、()の中の数字は頁数。

(1)(2)(3)

宮崎・無宿・庄五・一件

差上申・口書証文之事

私儀、去月廿二日、二ッ橋・土手ニ休居候處、牢番捕え候而、盜賊之旨、御注進申上候付、翌廿三日、御召捕御白洲江被_レ召出_レ有_レ之始末・御吟味御座候。

私儀、早谷川半四郎様御知行所、当国甘楽郡宮崎村・鉦打・由太・悴_ニ而年々・(4)「一 芎兩度ッ、旦那場相廻り候外、何方江も相越候義、無_ニ御座候、然處・私・同村・長吏・長作与申者ニ被_レ讓、当二月、南蛇井村ニ而、米・芎儀、田嶋村ニ而麦・并・蕎麦・少々ッ、三月、寺田村ニ而麦・三斗程、長作兩人ニ而盜申候、盆前・井戸沢村ニ而古帷子一、盆後、尾沢ニ而太織綿入・二ッ、太織帶(5)「一・芎筋、麻・少、絹糸・少、私・一人ニ而盜申候、夫々往還通御城下を罷通、板鼻宿江相越申候。

一 私・着用・并・罷物御改被_レ成候處、左之通、

一 木綿・浅黄・豎嶋_(縞)・草物

一 木綿・浅黄・帶

一 絹・下帶

×・三品・着用罷在候

(6)「

雜物

一 木綿・浅黄・風呂敷 一ッ

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

一 太織・浅黄・帶・ 袴筋

一 絹糸 六くり

一 手織切一ツ

一 男もの木綿・浅黄・豎嶋^(續)・単物・一ツ

一 同断・広袖・単物 袴ッ

一 銭・式貫文

一 鼻紙 拾枚程

一 仮名手本 一本

一 絹やうじさし 一ッ

一 水吞 袴ッ

ベ・拾壹品

右之通・相違無_ニ御座_ニ候。

一 私義、当二月る右・長作ニ被_レ誘、不埒⁽⁸⁾「之儀仕候ニ付、当七月十四日、被_レ致_ニ勘当_ニ無宿可_ニ相成_ニ、い多し方も無_ニ之、宮崎辺ニ罷在候へ共、所詮・可_ニ落付_ニ義_ニも無_ニ御座_ニ付、板鼻宿ニ、前々より知人御座候故、去月十九日、右宿江参、一宿い多し、翌日、高崎江相越、荒町ニ而一ヶ月切ニ店借致シ候処、鍋・袴_ニ無_ニ之候付、宮崎江まいり致方も可_レ有_ニ之哉与存シ⁽⁹⁾」相越申候、其節、川之出水_ニ而不_レ被_ニ相越_ニ、黒川村ニ一宿仕、廿一日、宮崎

村江参り、内々・母可多る鍋・老ツ、膳・椀貫申候而、又々・板鼻・知人之方江可参存候処、夜ニ入、殊ニ宵闇ニ而・漸・相越候、然所、間仁田村之内ニ而離家御座候、風与存付、裏口之戸明候故、是ヲ遁入候へ共、(10)「寝入罷在候、納戸之辺与相見之候所ニ風呂敷ニ包ニ、外ニ銭有之候ニ付、盜取、段々・相越シ候処、夜明ケ候得者、食事仕込所無之、空腹ニ罷成、漸・中宿村江無心申、朝飯給申候、然共、板鼻川支ニて不_レ被_レ参候間、出水見可申存、ニッ橋・相越シ、土手ニ休居候義ニ御座候段、申上候処、(11)「被_二仰聞_一候者当二月与里長作ニ被_レ誘候儀ニ無之、私・一人ニ而前々所々江相越、盜賊之身分故、無宿ニ相成候儀ニ可_レ有之、然上者、此辺逆も同様之儀、近辺ニ而盜致し候義、有_二躰可_二申上_一旨、御吟味ニ御座候。

此義、前書申上候通、長作ニ被_レ誘 (12)「当二月与兩人ニ而罷出盜候儀ニ御座候、益前・益後・兩度、私・一人相越盜取、右之外、盜仕候儀無_二御座_一候段・申上候処、猶又・被_二仰聞_一候者、尾沢村ニ而盜以多し、御当所・罷通候得者、此辺も盜候義、可_レ有_レ之旨、段々・御糺明ニ御座候へとも、右之外ニ盜い多し候義、無_レ之候(13)「再応・敵鋪・御吟味御座候得とも、御領分江まいり盜致し候義無_レ之候、当二月より長作ニ被_レ誘盜致し候儀、前書申上候通、少も相違無_二御座_一候、然上者、如何様之御咎被_二仰付_一候共、可_二申上_一様無_二御座_一候
右・御吟味ニ付・申上候通・少も相違無_二(14)「御座_一候、仍而口書証文差上申所・如_レ件。

長谷川半四郎知行所

上州甘楽郡

宮崎村・出生

天明八年申八月

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕、吟味事件簿

無宿

庄五・爪印

当・申・廿歳

安中

御役所様

(15)

無宿・庄五・申渡・請証文

差上申・御請証文之事

私儀、七月廿二日、中宿村之堤ニ罷在、怪鋪・相見え候ニ付、廻り方被ニ召捕ニ被レ及ニ御吟味ニ候処、宮崎村之者ニ而、
当二月ろ小盗致し不身持ニ付、七月十四日、宮崎村・帳外ニ相成候、乍レ然・御領内におゐて悪事も不レ仕候ニ付、
安中御領内・徘徊、御講、追払被ニ仰付ニ奉レ畏候、此後、御領内(16)ニ徘徊仕候ハヽ・如何様ニも御科可レ被ニ
仰付ニ候、仍而御請証文差上申所・如レ件。

天明八申年九月十九日

宮崎村

無宿

庄五・爪印

安中

御役所様

覚

一 当所・下村・鉦打・庄五与申・帳外者之儀(17)「弥・帳外ニ相違無^レ之候哉之旨、被^ニ仰聞^ニ候趣・承知い多し候、右・庄五義、当七月十四日、帳外ニ相成候義、相違無^ニ御座^ニ候、為^レ念如^レ此ニ御座候、以上。

宮崎村

名主

庄右衛門・印

安中宿・問屋

内蔵之助殿

庄五・身元之儀、出生・村方江懸合候処、(18)「帳外ニ相違無^ニ御座^ニ候由ニ付、書付取置申候、依^レ之乍^レ恐写奉^ニ差上^ニ候、以上。

申九月

伝馬町・問屋

(蔵)
内藤之助・印

安中

御役所様

(19)

御請証文之事

一 男物・木綿・豎・しま・単・物・二ツ

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

一同・太織・絹黄・帶 沓筋

一 絹糸 五繰

ベ・四品

右・雜物之儀、当七月廿一日・夜、三本松村・辺ニ而盜取候段、先達而申上候処、鷲ノ宮(20)之内、上平村・富右衛門与申毛の被ニ盜取一候よし、御糺之上、富右衛門跡、右・村役人ヲ御立会ニ御見セ被レ成候処、富右エ門江御渡被レ成候段、被ニ盜取一候品々無相違一・ベ・四品、富右エ門江御渡被レ成候段・被ニ仰渡ニ承知奉畏候、私・盜取候品之義、無ニ御座一候、尤・私・着用仕候外ニ木綿・浅黄(21)「風呂敷・一ツ、手拭切・沓筋、鼻代^(紙)・少、仮名手本・一本、絹・やうし^(揚子巻)さし・沓ツ、紙細工水吞・一ツ、私・雜物ニ付御渡被レ下、慥ニ奉ニ請取一候、仍而御請一札・差上申所、如レ件。

長谷川半四郎知行所

当国甘楽郡

宮崎村・鉦打・庄太・悴^(俵)

天明八申九月十九日

無宿

庄五・爪印

安中

御役所様

覚

一 嶋^(稿)・單物・沓ッ 但・木綿

一 太リ・浅黄・帶 沓すし

一 絹糸 五ッ繰

一 錢 貳貫文

ハ・四品

右者、当七月廿一・夜、当村ニ而無宿・庄五⁽²³⁾」盜取候品、富右御門被_レ盜主ニ付、私とも為_ニ御見_ニ被_レ成候所被_レ盜候品とも相違無_ニ御座_ニ候、依_レ之・右・四品御渡し被_ニ下置_ニ難_レ有、槌・奉_ニ請取_ニ候、右・品之儀ニ付、如何様之義・御座候共、私共引請・急度・埒明可_レ申候、仍而一札差上申所、如_レ件。

遠藤覚右衛門御代官所

鷺宮村

名主

天明八年申九月十八日

八右衛門・印 (24)」

組頭

次左御門・印

当人

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

板倉肥前守様

御内

渡辺三藏殿

一 宮崎村・并・鷺之宮村役人江伝馬町・内藏助_ヲ為_レ寄、又候・取計候、尤・鷺之宮村へ被_レ盜雜物渡候砌ハ、内藏之

助方_ヲ同人宅へ呼寄置、三藏・并・町問屋差遣取計之

一 無宿之雜物被_レ来_レ渡不_レ遣取上置可_レ申旨仰出候ヌ。

鎌ニ而疵請候由、月代之内

二ヶ所疵少有_レ之久保屋

取立、かう屋_ク為_レ張

平愈さし候事

申十二月朔日・昼・ハツ半頃、中宿村・雉子觀音下・田場ニ藁積置候蔭ニ臥居候処、身形・怪敷・同村・長吏・捕

・盜賊ニ候段、右・村役人申出、吟味之上、左之通。

十二月朔日

中宿村・町離(長吏)・捕候盜賊

東上州山田郡二日市村・無宿・久米八・一件

(27)「

(26)「

(25)「

差上申・口書証文之事

去・申・二月朔日・昼・ハツ半時頃、中宿村・田場ニ臥居候処、身形・怪鋪・存、同村之町離・捕_レ之盜賊ニ候段、右・村役人中、当御役所様江御注進申上候由ニ而御呼出御吟味ニ御座候。

私儀、御代官・前の米沢藤十郎支配所・(28)「上州山田郡二日市村・金兵衛・悴_ニ而三歳ニ相成候時、父・金兵衛・相果、母・養育ニ而百姓勤罷在候処、不身持ニ而去々未ノ二月、勘当請、村方帳面被_レ除、無宿ニ罷成、当国前橋・原之郷与申所、馬喰・和七与申者知人ニ御座候故、相親、此毛の世話ニ而在所罷出候節_ル前橋町(29)「岩付屋善右エ門方ニ米春奉公致し居り、其砌、同所統_{ツ、キ}・赤堀村与申所江罷越、百姓家江忍入、木綿・拾・沓_ツ、布子・一ツ盜取、前橋ニ而木綿・拾・一ツ、單物・一ツ盜取申候、尤・賀質置_ルニもい多し、古手買ニも売、錢遣も荒く、外江出候而者、度々・遊過候故、右・善右エ門か多、同十二月廿六日、暇出候付、本庄宿江相越、日雇稼い多し罷在、同宿・塩やニ而塩・沓俵、布子羽織・沓_ツ、盜取、塩者同所・近村ニ而錢・四百文ニ売、羽織者(30)「着用罷在候、右之始末故、日雇稼・成兼、去申十一月十八日、本庄宿罷出、当国砥沢村・場所ニ承候付、日雇稼可_レ仕存、伊勢参ニ相成、藤岡町辺より段々・相越し、右村江罷越し候へとも、急ニ日雇稼も不_レ被_レ致、同廿八日・夜、同村・百姓家・裏口之壁破り、戸を明ケ忍入候処、夫婦・目を覺し候尔付、台所之片陰江隠れ居候得者、行燈所・見付候而、柄長之鎌、左之額江打懸候故、逃出候処、又々存口より鬘(31)「之内江打可_レ候ニ付、振りやり、鎌を称ち合な可_レ裏口_ル逃去り、山之内ニ隠・居申候、夜も明ケ候故、谷合之流ニ而洗ひ、血も止り候ニ付、山を出、一ノ宮道・相越、何与申所ニ御座候哉、廿九日・夜、野宿致し、翌朝も段々・相越候処、疵痛候

付、同・八ツ時・過、中宿村・田場ニ重子置候・藁之脇ニ取臥・罷在候、然所・同村・町離之由ニ而、見咎・尋候付、右之趣・荒々申候、(32)「右・村役中・御注進を申上候由ニ御座候、御吟味ニ付、私・在所与リ之始末・右之通ニ御座候段・申上候処、何れ江可_レ参積ニ而、砥沢村_ノ中宿村江相越候哉、疵痛候与、田場ニ取臥候而、近辺江忍入可_レ申義ニ御吟味御座候得とも毛頭・左様成義無_ニ御座候、疵請居、近所ニ而者、物貰候義も不_ニ相成候故、(33)「里方江出候儀与申、疵請候を難儀ニ付、田場江積置候・藁之脇ニ取臥居候与申紛し、此辺ニ而忍入盜可_レ致義を押隠し候様ニ思召・有_ニ躰可_ニ申上_ニ旨、嚴鋪御吟味ニ御座候得とも御当地江初而罷越・様子も不_レ奉_レ存、殊・私義、右・申上候趣・小盜仕・外ニ何ニ而も盜不_レ仕候、全躰・無宿ニ相成候而も盜可_レ仕存寄無_ニ之候得とも、右(34)「之通・盜取、砥沢村ニ而盜取不_レ仕疵請候儀故、存直し、惡事相止メ、少々ツ、も物貰候而、疵・平愈仕候ハ、日雇稼渡世可_レ仕奉_レ存候、右之段・申上役処、又々・被_ニ仰聞_ニ候者、右・躰申立ニ不_ニ相成候、忍入・盜い多し候儀、有_ニ躰可_ニ申上_ニ旨、再心・嚴鋪・御吟味ニ御座候へとも前書・申上候通・三ヶ所ニ而、盜い多し、砥沢村ニ而者、忍入候得共、(35)「盜取不_レ申、疵負、御当地江初て参候儀ニ而盜致候義・無_ニ御座候、尤・仲ケ間可_レ有_ニ之旨、御吟味ニ御候へとも、右・躰之儀故、私・一人立候儀ニ而仲ケ間無_ニ御座候、御領分者勿論・近辺ニ而盜仕候義・御座候ハ、如何様之御咎ニも可_レ被_ニ仰付_ニ候。

右・御吟味ニ付、奉_ニ申上_ニ候通・少も相違無_ニ御座候、仍而口書証文差上申所、如_レ件。

(36)

御代官

前沢藤十郎支配所

天明九年丙正月

安中

御役所様

右・久米八・御吟味之趣、私共・罷出奉_ニ承知_ニ候、以上。

酉正月

上州山田郡二日市村

百姓・金兵衛・悻₍₉₎

無宿・久米八

当・酉・廿四歳

中宿村

年番名主

久兵衛₍₉₎

同

平七

組頭

門兵衛

同

覚右衛門

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

同

長左衛門

同

清兵衛

無宿・久米八・着用・并・所持之品・書付

無宿・久米八・着用之品

一 木綿・繼々・古單物 一ツ

一 木綿・黒・古綿入 一ツ

但・淺黄・木綿・古裏

一 茶・太織・帶 沓筋

一 古足袋 式足

一 木綿・下帶 沓筋

一 黒・と路めん・單・古脚半 沓足

ズ・七品

所持之品

一 古渋紙 沓枚

一 柄杓 亳本

但・東上州山田郡二日市村・久米八与認有_レ之

一 なめし革・古胴乱 亳ッ

一 畳・古縁 亳筋

ハ・七品

但・金錢所持無_レ之候

右之通ニ御座候・所持之品・牢番とも江預ケ置

繁蔵・口書

差上申・口書証文之事

私儀、旧・臘・十二日、儀兵衛・一同(41)「御城下町・罷通候処、様子・怪敷存、兩人とも御牢番捕え、同所・役人中・御注通申上候由ニ而被_レ成御呼出、是迄・渡世之儀・并・御当地江相越候・始末・御吟味ニ御座候。

私儀、南部慶治郎・領分、奥州鹿角郡_(毛馬内)けまない村・金助・悴_(俵)ニ而拔参可_レ仕心掛ニ而去ル午・二月二日、在所を出

(42)「江戸表江相越、神田・橋元町・願人宿ニ廿日程、罷在、いせ参リニ而、物貰稼申候、同三月中、参宮可_レ仕与

存・罷在候処、川崎宿ニ而、巾着切・新場亀与申者ニ出合、連ニ相成、参宮仕、三月、四月・道中ニ罷有、五月

中、江戸江戻り、右・亀之セ話ニ、成候而、屋稼致し、習ひ、去申七月迄、罷在候之処、同晦日、(43)「水道橋

ニ而掘帶刀様御手ニ合、八月、初・入牢被_ニ仰付_一御吟味之処、屋稼・申訳相立、十月十八日、御免、出牢被_ニ

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

仰付候付、板橋宿之方江參候處、兼而隱瘡ニ而難儀仕、其上・心細惡鋪候、妙義江願届い多し、深谷宿江相越候得とも瘡之氣味ニ而熱有之、歩行も仕兼(44)」右・宿・並木之内ニ菰を加ぶり、三十日程・罷在、挽割杯實候凌り居候處、儀兵衛相越、知人ニ罷成、難儀之趣・見請、世話い多し・吳々・快・相成候ニ付、十一月十八日・九日頃、私・儀兵衛、深谷を出、新町江参り候處、常吉与申者ニ出合、同道い多し、妙義江參、釜屋と申候・茶やニ(45)」泊、儀兵衛義ハ、是る別れ、高崎辺ニ罷在候也、常吉・私・兩人、沓ノ宮、富岡、藤岡、本庄・辺ニ而屋稼仕居・旧・臘五日、高崎江參、同夜・板鼻宿・谷屋ニ兩人・泊候處、右・宿之者、捕江、翌・六日、倉ヶ野宿・江戸・御同心様・御旅宿江召連候處、御吟味御座候、常吉、私共ニ屋稼申訳相(46)」立越存、喜八、花屋藤藏と申・盜賊、知・次第・可ニ申出与御奉公被ニ 仰付被成御免、七日ニ板鼻宿江参り、吉田屋ニ泊り、八日ニ一ノ宮江相越、遷宮ニ付、同所・下町・所々ニ泊り、十二日迄、罷在、同日、上町ニ而稼候・手元被見附、既ニ可被殺處、此度者、命助ケ候由ニ而追放申候、常吉義ハ、(47)」私・被捕ヘ候節、何方江參候哉、相知不申候、然ル處、一ノ宮・下之方、町逃レにて儀兵衛ニ出合候ニ付、伊香保江可參咄合・段々・相越候處、同日・夕・七時頃、御城下町を罷通候處、御牢番、怪鋪もの与存、捕ヘ置・御注進申上候由ニ御座候、尤・所持仕候品者相調申候、右・申上候通之身持ニ而無宿ニ罷成候段、申上候處、去ル(48)」午年、在所を抜参リニ出、無宿之身ニ而右・申上候通之商売仕候上ハ、仲ケ間・多・人家江忍入、盜賊仕候義、有躰可ニ申上旨、御吟味ニ御座候得共、私共・商売ニ而盜賊仕候義、決而無御座ニ候、巾着を切、懷中之毛のを取、財布を、截き取候儀ニ而御座候・所持仕候・道具・手か多と申(49)」剃刀を短く仕候・物ニ而巾着、財布等・切申候、巾着ニ候得者、内之品を取、巾着

ハ捨申候、懷中物連も、内々、「品を取、鼻紙袋ニ候共、捨候儀者ニ御座候、常吉義者、田舎商売仕、反物等取候者、私儀者、江戸表ニ計・罷在、田舎市場之様子も不存、勿論・取可申存付無御座、全駄不(50)」器用ニ而其上・式・三年以来之商売ニ而不手際ニ御座候故、右駄之儀・不相成ニ漸・式・三百文位之仕事仕・巾着切候之茂南鐐・老片、又者金式・三分程・取候義も有之、懷中物者不手際ニ御座候、仕合宜節ハ遊所ニ計・罷在、仕合惡鋪節ハ、野宿仕、江戸表ニ而者(51)」繋き置候・川船ニ而夜を明し候義・御座候旨・申上候処、所持仕・品之内、風呂鋪ニ包候・綿之儀、怪敷・思召・御吟味ニ御座候得共、今日参候・道添・藪際ニ捨有之候故、包参候段・申上候処、火道具ニい多し候綿ニ可有之旨、敵敷御吟味ニ御座候、此義者、何ニ而も許不申候而者、旅籠屋ニ而留不申候故(52)」包ニ参り火道具之儀、心懸・毛頭無御座候、猶又、被仰聞候与、彼是と偽無之趣・申、忍入致盗候儀を申紛し、江戸表ニ而蒙御免出牢致し、并・倉ケ野宿ニ而江戸御同心様ニ御奉公被仰付・早速・御免被成候旨、申上候義、布而御疑掛り御領分者勿論・近辺江(53)」忍入盗賊仕候義ニ思召、有駄可申上旨、再応・敵鋪・御吟味ニ御座候得とも御領分・村々茂不奉改候、前書・申上候通、去十一月廿日頃、妙義江参詣仕、初而御当地江罷通、其後、旧臘十二日、一ノ宮方罷越候儀ニ而御座候故、御当地ニ而盜賊者勿論之儀屋稼等も決而不仕候(54)」高崎、新町、本庄・辺ニ而商売仕、「伊香保江湯治可仕奉存候義ニ而十二日、御城下町罷通候儀ニ御座候、御当地にて盜賊仕候義者猶以之義、巾着等切、其外・少々之品にても取候儀御座候ハ、如何様之御咎ニも可被仰付候。

右・御吟味ニ付、奉申上候通、少も相違無御座候、仍而口書証文差上申所、如件。

南部慶次郎領分

奥州鹿角郡

けまなひ村

金助・悴^(傳)

繁藏

当・廿四歳

天明九酉正月

安中

御役所様

右・繁藏・御吟味之趣、私共・罷出奉_ニ承知_ニ候、以上。

伝馬町

問屋

内藏之助

年寄

元右衛門

同

喜平治

無宿・儀兵術・申口

差上申・口書証文之事

私義、旧臘・十二日、繁蔵・一同、御城下町・罷通候処、様子怪敷存、兩人ともニ御牢番捕え御注進申上候由ニて被_レ成_ニ御呼出_一、是迄・渡世之義・并・御当地江相越候・始末・御吟味ニ御座候。

私義、松平陸奥守領分・奥州(58)「栗原郡津き立町・仁右_ヱ門・悴_ニ而去々(倦)・未八月程・参り可_レ仕、江戸江出、
神田・橋元町(本)・願人宿・并・品川・横町・かゝみや伝兵衛方ニ宿ニ致し、辻々ニ立、物實方ニ罷在、去申二月十

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

同

直 八

同

藤左_ヱ門

同

清 助

同

惣 助

同

政之丞

七日、江戸を立、三月十四日、参宮仕、木曾路を下り、善光寺、夫より〔59〕四月、月光御祭江参、又候・江戸江出、いせまいりニ而十月迄、右・兩所之宿ニ居、最寄々ニ而物貰い多し罷在候得とも、不_レ乘氣ニ付、同廿日、江戸を立、蕨宿・近所、鳩谷宿ろ段々・貰、十一月始、熊谷宿江相越、同十日、深谷宿江相越候処、並木之内ニ菰をかふり居候毛の、難儀之体ニ見請候故、相尋候得者、繁藏〔60〕与申ものニ而、妙義江参度所、煩居候よし申候ニ付、身之上を弁江せ話致、近所ニ而物貰い多し凌居候処、繁藏、快・罷成、同十八・九日頃、深谷宿を立登り候処、新町宿にて常吉与申者ニ出合、道連ニ相成、妙義江参、一夜・泊候へ者、右・兩人之世話ニ成候故、是る別レ、私義者、高崎、新町辺ニ而物貰い多し居り、繁藏、常吉者、何れ江参候哉、不_レ改候、〔61〕然処、旧臘十二日、一ノ宮江物貰可_レ致相越候へ者、繁藏ニ出合候処、伊香保江湯治可_レ致由・申聞候、尤・高崎ろ本庄辺迄、商売稼候而湯治可_レ致旨申候ニ付、同道仕、同日・七ツ頃、御城下罷通候処、様子怪鋪・改・御牢番捕え御注進申上候由ニ御座候、此段・申上候処、被_二御聞_一候者、按参ニ而参宮可_レ〔62〕致由ニ而去・年八月、在所を出、此節迄之趣、物貰の已ニ而渡せ、疑鋪身形与申、御不審ニ思召、盜賊ニ可有_レ之、有躰可_二申上_一旨、御吟味ニ御座候得共、盜賊仕候義、無_二御座_一候、在所を出、いせまいりニ相成、江戸ニ罷在、壹錢、貳錢、又者・拾式文供ツ、貰、一日ニ三・四百文程・貰候儀ゆへ、在所之義も忘れ、無宿ニ罷成、辻々ニ而ハ〔63〕_(無體)勢ル_(無體)坏取候儀も有_レ之候得とも盜賊仕候義、無_二御座_一候、参宮仕候節も、道中筋、伊勢参ニ而不自由ニ無_レ之、木曾道中、日光江も相越し候義ニ御座候、猶又・被_二仰聞_一候者、無宿ニ相成、右躰之儀、其上・繁藏、常吉・一同以多し候儀共、いせ参り之身分ニ無_レ之、忍入、盗い多し候儀、可有_レ之、嚴鋪・御吟味ニ御座候得者、聊以〔64〕盜賊不_レ仕候、江戸表ニ而

きせるを取、去十一月、高崎、新町、本庄辺ニ而懷中物索と取、所持仕候・金子・并・守袋者屋稼仕候品ニ御座候、其外たりと錢なと取申候、^(不_レ申)無宿ニ罷成、右躰之者与同道仕候得共、尚・物貰計も不_レ仕、段々・御吟味請候而ハ可ニ申上様無_レ之、有躰申上候儀ニ御座候、又々・被_二仰_一(65)「聞_二者、高崎、本庄辺ニ罷在候上者、御領分ニ而も稼い多し物貰ニ而人家之様子・見届置キ忍入、盜賊い多し候義共、押隠し候様・思召、再応・嚴鋪・御吟味御座得共、全以忍入、盜賊仕候儀、無_二御座_一候、御当地者勿論・御領分・村々ニ而盜賊仕候義・并・物貰候(66)「儀も御座候ハ、如何様之御咎も可_レ被_二仰付_一候。

右・御吟味ニ付、申上候通・少も相違無_二御座_一候、仍而口書証文差上申所、如_レ件。

天明九年酉正月

松平陸奥守領分

奥州栗原郡

津き立町

仁右衛門・悻^(俵)

無宿

義兵衛

当・酉・廿三歳

安中

御役所様

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

右・義兵衛、御吟味之趣・罷出奉_ニ承知_一候、以上。

酉正月

伝馬町

問屋

内藏之助

松平陸奥守様御領分

奥州

栗原郡つき立町・出生

当時・無宿

儀兵衛

所持之品々

一 と路めんとん婦り 一 一 尔しき金入 一ッ

一 四文銭 拾六文 一 楊枝差 一ッ

一 守袋 一ッ 一 者みかき(幽 膺) 老袋

一 白木綿 古ふかけ^(甲)^(楚)

一 手拭 壹筋

一 多者古道具^(煙草)

一 青四布風呂敷 一ツ

一 松坂嶋・脚半^(簪)

一 但・改御座候へ共、切レ相見不_レ申候
一 紺差^(草鞋)ハラしかけ 壹足

メ・拾式足

着類之品付

一 広棧・袷羽織 壹ツ 一 紺木綿・袷 一ツ

一 木綿・嶋^(簪)單物 一ツ 一 浅黄・太織帶 一筋

一 木綿・千種・單物 一ツ

メ・五品

南部慶治郎様御領分

奥州

^(鹿角)
か川の郡けまない村・出生

当時・無宿

繁藏

所持之品々

一 古とん婦り 沓ッ 一 守袋 沓ッ

一 手形 沓丁 一 箸 沓膳

但・髮剃刀折々御座い

一 染風呂鋪 沓ッ 一 (襦袢)た者粉道具

一 手拭 沓すし 一 銭・四拾五文

メ・九品

着類

品付

一 紺・棧留袷 沓ッ 一 広棧布子 一ッ

一 絹・古孺伴 一ッ 一 (袴小纏)し満古者ゝ帶

一 (真田)さな多腰帶 一 筋 一 (袴)(股)紺嶋・毛、引 沓足

メ・七品

申・十二月二日・朝、中宿村・往還・下村・外ニ而怪敷・見請、同村・町離、召捕へ牢番共ニ吟味可致旨、引候之段

右・村役人共、内々・御代官へ申出、尤・牢番共、糺候処、怪敷毛の候由ニ而・村役人・并・内蔵之助、申出・吟味候

当・申・廿三歳(70)「

(71)「

(72)「(73)「

趣、右之通、

但、何咎等・末ニ糺候。

(74)

信州松本・出生

無宿

富藏

申口

当・申・廿三才

富藏儀、若年ら不身持ニ而去ル午・四月、勘当請、無宿ニ相成、美濃国加茂郡中津川・小間物や・甚左衛門方ニ奉公
い多し、去七月、出奔之上、同九月朔日・夜、信州脊黒村・梅吉与申者方江めママつといせ・兩人ニ而忍入、居間ニ有之候
・衣(75)類・盜賊取、洗馬宿・宿引・与吉申毛の相頼・質入い多し、代金・六兩貳歩、兩人尔て分ケ申候、与吉江者
裕・羽折・壹ツ遣申候、右・盜取候品、詮義・嚴鋪、塩尻、目白し、三佐、和吉、礪右エ門可た江被呼、吟味ニ懸、
富藏實取候品者差出候得とも、めつこいせハ不ニ相知、めつこいせ、洗馬宿・髮結・大五郎与申者、申合候趣
・此・兩人、行衛不レ知候尔付、尋出候様、松本御城下・穢多・彦七・親尔て金・三步貳朱貫ひ(76)夫より諏訪之
湯江参候处、竹藏ニ出合、めつ古以せ尋之義、申聞、参宮茂可致・申合、廿四日、諏訪を立、廿五日、長久保宿、廿
六日・廿七日・追分宿、廿八日・廿九日・坂本宿ニ泊り、尤・不快ニ而廿九日ハ逗留候处、可泊錢も無之、御城下
之下河原尔て少・火を焼、寒サを防、夜を明し罷在候处、中宿村ニ而被捕候・右・脊黒村ニ而盜取・外・少々ツ、所ニ而

盗い多し候(77)「義故、何レニ而行程と申儀、不_レ相分_二候由、申_レ之、安中御領分・村々之義ハ不_レ奉_レ存候得とも、猶・当国へ初而参候義ゆへ、御領内にて盗い多し候儀無_レ之旨・申候儀、土塩村江相越候・盜賊之群ニ可_レ有_レ之茂、旁・再応・真木ニのせ・嚴鋪・吟味仕候處、前書之趣・同様申_レ之候。

同国松代・出生

無宿

竹藏 (78)

竹藏義、身持惡鋪、去ル午・三月、勘当受、無宿相成、甲州逸見郡・東郡辺ニ而金・式・三步位ツ、老入立・所々ニ而盜取、何レニ而何程と申義、分而申兼候由、尤・火繩を用意い多し、戸を古じ明、忍入、附木、又・蠟燭・燈し・内之様子を見・盜取候儀ニ而火打道具之儀も、右之用意ニ有_レ之候由、去冬中、信州洗馬宿辺ニ廻り居、諏訪之湯江(79)「度々・罷越候處、十一月廿三日、富藏ニ出合、めつこいせ・尋ニ出候由、申聞、頼ニ付、致ニ一向、参宮も可_レ致申處、廿四日、諏訪を立、廿五日・長久保、廿六日・廿七日・追分、廿八日・廿九日・坂本、翌・朔日、出立い多し御城下・罷通候處、同夜・四ツ時過ニも罷成候得者致可多無_レ之、御当所・下之河原ニ而少・火を焼・寒を防、夜を明し罷在候處、中宿村ニ而取捕、尤・御関所通手形、松井田宿之先ニ而拾ひ候由、申候ル付、御城下・夜中通候趣・并・御関所(80)「通手形拾ひ候義、所持之火道具等・再応・真木ニ乗、嚴鋪・吟味致候得とも前日之通、申_レ之候、且・土塩村ニ入候・盜賊之群ニ可_レ有_レ之、是又・嚴鋪・吟味仕候處、当国江初而罷越候義ニ而御領分ニ而盜致候義無_レ之旨申上候。

上州新田郡富沢村・出生

無宿

久治(81)

久治義、追々・不身持ニ而去ル午・正月、家出い多し無宿ニ相成、越後・上田江罷越、辻咄等・渡世ニい多し罷在、去
・申・十一月・初旬、上田越出、同廿七日・追分ルて始而富藏、竹藏ニ出合候処、同商売ニ可有之旨・申候ニ付、
無行心商売人之よし申候義ニ而めつこいセ尋度旨・頼候ニ付、廿八日、右・宿・一同出立、同夜・坂本宿ニ泊、廿九
日・富藏不快(82)「ゆへ、逗留い多し、翌・朔日、罷在、右・不快ゆへ所々ルて休、御城下・夜・四ツ時・過キ頃
罷通、夜も更、銭も無之、御当所下候・竹原ニ而同・罷在、夜を明し罷在候処、中宿ニ而被レ捕候・辻咄しい多し、
品玉等ニ而渡世い多し、盜賊致し候義無之旨・申候ニ付、段々・致し吟味ニ土塩村江參、盜賊之群ニ可有之義、旁・
真木ニ乗、再応・嚴鋪・吟味仕候処、前書之通・申之、去々・年中・御城下(83)「辻咄致候通り・此度・罷下
り商売人・同道致候へとも、御領内者勿論・何方ニ而も盜賊致し候義・無之旨申之候。

右・富藏、竹藏、久治・三人之者共、申候之趣、書面之通・御座候、尤・繁藏、義兵衛、久米八義者、口書案、先達而
差上候付、此段・不_ニ申上_ニ候。

森本勘右エ門

当時・病氣

松原十右エ門

(84)

二月七日

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

四七

東洋法学

四八

信州(筑摩)つくま郡

松本・出生

富蔵

当・申・廿三歳

所持之品々

一 紺・木綿・五の風呂鋪 一ツ 一 さらし風呂敷 一ツ

但、木綿糸ニ而さし候

一 真田 沓すし 一 木綿・胸当 一ツ

一 染・手拭 沓筋 一 真鍮・矢立 沓本

但、古し

一 黒・天鵝絨・道乱 一ツ 一 きせる 沓本

一 紙・煙草入 沓ツ 一 浅黄・木綿毛(股)・引 一 足

一 木綿・嶋耆ゝき 同 一 古んさし草鞋 同

メ・十式品

衣類品付

一 棧留嶋綿入(簍) 一ツ 一 木綿・嶋羽織 一ツ

- 一 細しま帯 一筋 一 浅黄・古絹・下帯 一筋
- 一 浅黄・股引 一足

(86)]

上州新田郡

小しま・出生

久治

当・申・式十二才

所持之品々

- 一 木綿・染・胸当 一ツ 一 松坂嶋古才布 一ツ
- 但、木綿・紐付御座候
- 一 青・木綿・四の風呂敷 一ツ
- 一 手拭 壹すし 一 きせる 壹本

メ・五品

衣類品付

- 一 小納戸・茶・古木綿・袷 一ツ
- 一 浅黄・太織・襦伴 一ツ
- 但・袖・千種ちりめんゑり 郡内嶋

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

(87)]

一 茶・ぬめ・帯

一 木綿・しま・古股引 沓足

一 白足袋 沓足

一 毛み・下帯

ベ・六品

(88)

信州つくま郡

松本・出生

竹蔵

当・申・廿四歳

所持之品々

一 と路めんとん婦り 一ッ

竹筒 一本、匂ひ袋 二ッ、木曾道中記 一冊、付木 少々、毛ぬき 沓丁、さすう 沓本、楊枝 一本、火

道具、杉火縄 沓尺不ど、四文銭、十五文、小銭・三文、さらさ小風呂敷一ッ、(89)「青五の風呂敷 一ッ

ベ・拾四品

右者、とんふり江入、風呂鋪ニ包いさし外ニちくさ渋柄・うち可い 沓すし、紙道乱、させる・沓本御座候。

衣類品付

一 木綿・嶋・布子 沓ッ、一 浅黄・襦伴 一ツ、一 浅黄・太織帶 沓筋、一 紺・木綿・者つち 一足〔90〕

一 麻 三尺、一 白者ゞき

一 絹・草鞋可け沓足

一 染手 沓筋

メ・八品

一 火付盜賊改役・長谷川平藏様・御組・与力・藤川吉右エ門与申・仁・申者、安中表ニ無宿・五六人も召捕置候由、内々貫度由、板鼻宿・亀与申者へ申、是分牢番共へ様子承候旨ニ付、内藏之助・内意申出候、依之、江戸表へ伺候処、御下知有之、内々・内藏之助懸合候而此方ハ追払、其上・右・与力・途中取之繼ニ而引渡候。

右・六人之者共、無宿・名前・直右エ門与認・并・着用所持之品・引渡遣ス。

〔91〕

盜賊宿

坂本宿。久五郎・口書

盜賊・富藏、竹藏、久治、去・申・十一月廿八日、廿九日・兩夜・私方ニ泊り候旨・申上候由ニ付、被成御呼出、右之始末・御吟味ニ御座候。

此儀、去・申・十一月廿八日、暮時、久治与申者、信州毛の与申・相越、私・召仕候・小女・懸合ニ而旅人・都合・三人留メ申候処、翌月廿九日・朝・〔92〕「沓人・不快之者有之殊・風烈、旁にて逗留い多し置・旨・申候ニ付、不快之様子承候処、持病之疼痛難義よしニ御座候故、同夜・留・快候由ニ而朔日・朝三人ともニ出立

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

い多し、疑鋪儀も無_レ之、盜賊と者不_レ存罷在候、尤・私儀、廿八日・当宿・伯父・六郎右エ門方江相越、夜ニ入
(93)「罷歸候處、泊・二人有_レ之御宿之者申候ニ付承候處、風呂鋪包・沓ツ、洪紙包・沓ツ、式ツ共ニ少々・
包之よし申聞候付、信州石屋ニ而可_レ有_レ之与存・罷在候、且・松井田宿用事有_レ之候、翌廿九日、早朝・罷出、
右・宿江参り、暮・六ツ頃、罷歸候、然所・昨夜之旅人之内・一人・痔痛致、難儀・殊・風も強候故、今晚も
泊り度よしニ付、留候旨、宿之者申聞候而已、様子見届不_レ申候、全躰・石屋ニ而(94)「可_レ有_レ之存候故、朔
日・朝、出立之節も何心附も無_レ御座罷有候之處、右・泊リ候・三人之者共、盜賊之由にて御吟味請、驚入奉_ニ
恐入_ニ候義ニ御座候、此段・申上候處、被_ニ仰聞_ニ候者、此以前も泊り候義、可_レ有_レ之旅籠錢・并・茶代等之儀
御吟味御座候得共、是迄・留候義、一向・覺無_ニ御座_ニ、家内之もの共も覺・無_レ之旨・申候、旅籠錢・老人前
・百(95)「廿四文ツ、廿九日・昼、旅籠錢・七十式文ツ、右之分・請取、外ニ茶代等、決而無_ニ御座_ニ候
旨・申上候處、定宿ニ候故、信州・石屋与申紛し、且・是迄・留候儀、覺無_レ之与偽候義ニ思召・有躰可_ニ申上_ニ旨
再応・嚴鋪・御吟味請候而者、奉_ニ恐入_ニ候得共、前書・申上候通、実以信州・石屋与奉_ニ存心得違仕、勿論・
是迄・留候義、一向・覺無_ニ御座_ニ候、又々・被_ニ仰聞_ニ候者、連有_レ之候共、(96)「最初・糺・可_レ留儀を
不相糺、石屋与のミ、存罷在、廿九日・松井田宿が罷歸、一人・痔痛ニ而三人共ニ逗留之よし承候ハ、様子可_ニ
見届_ニ處、無_ニ其義_ニ其上・逗留致し候義を宿役人・五人組江も不相届、旅籠屋致ながら等閑之始末・不埒至
極之旨御吟味請候而者可_ニ申上_ニ様・有_レ之不調法至極仕候、此上・(97)「如何様・御咎被_ニ仰付_ニ候共、一言
・可_ニ申上_ニ義・無_ニ御座_ニ候。

右・御吟味ニ付、奉_ニ申上_ニ候通、少茂・相違無_ニ御座_ニ候、仍而口書証文・差上申所・如_レ件。

坂本宿

旅籠屋

寛政元年酉五月廿五日

久五郎・印

(98)

同・五人組

次郎八・印

同・金八

同・権八

安中

御役所様

右・久五郎・御吟味ニ付奉_ニ申上_ニ候趣、私共一同、罷出奉_ニ承知_ニ候、以上。

同村

(99)

問屋

名主 連印

年寄

坂本宿役人共・口上書

盜賊・富藏、竹藏、久治、去申十一月廿八日、廿九日、当宿・旅籠屋・久五郎方ニ泊り候旨々申上候田尔付、右泊り候始末・并・平日、右躰之者(重複か)（100）」之者・久五郎方ニ留候哉之旨、私共、御呼出・御吟味御座候。此儀、私共、其夜泊、改も不仕、怪鋪・躰之毛の留候義・不仕候様、宿内之者共、相守罷在候処、右・盜賊・三人・兩夜、久五郎方ニ留り候義、不存一同奉恐入候、久五郎義、平日、怪敷毛の留候義、（101）」承不申候旨・申上候処、毎夜、泊り帳を以可相改_二処、無之其義等閑故、右躰之儀も有_レ之様・思召・不埒至極之旨・御吟味請候而者、可_二申上様・無_レ之一同・不調法・至極仕候、如何様被_二仰付候共、可_二申上義無御座候。右・御吟味ニ付、奉_二申上候通・少も相違無御座候、仍而口上書・差上申所、如件（102）」

坂本宿

寛政元年酉五月廿五日

組頭

善左衛門・印

同

甚兵衛・印

同

八郎左衛門・印

同

弥三兵衛・印

同

富左衛門・印

同

新左衛門・印

同

源右衛門・印

源左衛門・印

三郎左衛門・印

(103)

安中

御役所様

同村・久五郎・口書・五人組

差上申・口書証文之事

盗賊・富蔵、竹蔵、久治、去申十一月廿八日、⁽¹⁰⁴⁾廿九日、組合・旅籠屋・久五郎方ニ泊り候旨・申上候由ニ付、右・泊り候始末・并・平日、右躰之者、久五郎方ニ留候哉之旨、私共、御呼出・御吟味ニ御座候。

此儀、私共・其節・御伝馬・且・薪取等ニ罷出、久五郎方江参不_レ申泊り候・旅人之様子も存不_レ申候、尤・久五

安中藩領・長吏等役人の盗賊逮捕・吟味事件簿

五五

郎儀、是迄・怪鋪もの(105)「留候儀者無御座候得共、右・三人之盜賊を心得違仕・石屋与而已存留候儀ニ而私共、一同・奉恐入候・此段・申上候処、被仰聞候者、右・盜賊・三人・久五郎心得違ニ而留候由、雖申与一兩夜・泊り候義を私共・不存罷在・五人組之註無之不埒之段・御吟味請候而者可申上様・無之不調法至極仕候、如何様(106)」御咎被仰付候共、可申上儀・無御座候。

右・御吟味ニ付奉申上候通・少茂相違無御座候、仍・口書証文・差上申所、如件。

坂本宿

旅籠屋

久五郎・五人組

治郎八・印

同

金八・印

同

権八・印

安中

御役所様

右・久五郎・五人組之者・御吟味ニ付申上候趣、私共・一同・罷出奉承知候、以上。

同宿

問屋

名主連印

年寄

同宿・久五郎・御仕置・伺書

盜賊・富藏、竹藏、久治義、去申十一月廿八日、廿九日、坂本宿・旅籠屋・久五郎方ニ留候義ニ付（108）「御仕置之儀、内評儀仕候趣・左ニ申上候。

坂本宿

手鎖

旅籠屋

但・月数・三十日

久五郎

一 其方儀、旅人連有レ之候共、最初・相糺可レ留儀ヲ石屋与而巳存・罷在・廿九日、松井田宿_ル罷歸・忝人・痔痛ニ而三人共ニ逗留候由・承候ハ、様子可_レ見留_ニ処、無_ニ其儀_ニ其上・逗留致候義を宿役人・五人組江も不_ニ（109）「相届、旅籠屋い多しなから等閑之始末・不籠至極ニ付。

問屋

押込

「源左衛門

安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

五七

但・日数・十五日ッ

急度叱

年寄

組頭 とも

一 其方共義、宿内・怪鋪者、不留儀者（110）「勿論・毎夜・泊り帳を以可相改ニ処、無其儀等閑・故、久五郎方ニ盜賊留候義も有レ之不埒至極ニ付。

久五郎・五人組

急度叱

治郎 八

金 八

権 八

一 其方共義、組合・久五郎・心得違ニ而去（111）十一月廿八日、廿九日、盜賊・三人・留候由、雖ニ申与ニ兩夜・

泊り候義を不レ存・罷在、五人組之詮無レ之不埒ニ付。

右者、先達而吟味詰・申上候ニ付、口書・写・相添・此段・伺奉レ候、以上。

五月廿七日

忝本勘左エ門

悴・同三郎兵衛

松原十右エ門

御附札・六月廿九日付

書面・久五郎義、手鎖可_レ被_二仰付_一候処、吟味中・数日・手鎖
申付置候義ニ付、御宥免_ヲ以急度・叱置可_レ然問屋・名主共ハ押
込・日数・十日」年寄共ハ急度叱・置・五人組ハ」叱置可_レ被_レ
申候。

無宿・久米八・取計儀・伺

旧臘・申上候・中宿村・長離共・捕え候（113）^{（更）} 当国・山田郡二日市村・無宿・久米八義、吟味仕候之処、去々未

二月、勘当請、無宿ニ相成候・口書之通・小盗い多し、去申十一月廿八日、砥沢村・百姓家江忍入候得とも、不_二盗
取_二疵請_一・逃ヶ去り、段々・相越候由、尤・老人立・盜候儀ニ而仲ヶ間無_レ之旨・申候・口書之趣・御領内・村々ニ而
悪事致義も不_二相聞_一候得とも疵請候之者候義（114）ニ付、如何・取計可_レ申哉、口書案・相添奉_レ伺候。

正月

森本勘左エ門

悴^{（傳）}・同・三郎兵衛

松原十右エ門

無宿・繁蔵・義兵衛・御仕置・書付

一 奥州・鹿角郡けまなひ村・無宿・繁蔵義、吟味仕候処、去ル午二月、拔参ニ出、無宿ニ相成、口書之通・すりい
安中藩領・長吏等役人の盜賊逮捕・吟味事件簿

多し、去申十二月(115)「十二月、一ノ宮_ハ無宿・儀兵衛・同道致し、御城下町・罷通・口書之通・御領分・村々ニ而惡事も不_ニ相聞_一候得とも、巾着切・一通り 相聞候ニ付、追払被_ニ 仰付_一候義ニも可_レ有_ニ御座_一候哉。

一 奥州・栗原郡つき立町・無宿・儀兵衛義、吟味仕候處、去々未八月、拔參ニ出、無宿ニ(116)「相成・口書之通・物貰い多し奈から・すり致し、去申十二月十二日、一ノ宮_ハ無宿・繁藏、同道い多し御城下町・罷通・口書之趣ニ而御領分・村々ニ而惡事も不_ニ相聞_一候・物貰、巾着切・一通りニ相聞候付、追払被_ニ 仰付_一候之義ニも可_レ有_ニ御座_一候哉。

右・兩人之者とも追払被_ニ 仰付_一候ハ別紙・相伺候之通・可_ニ申渡_一候哉、口書案・相添・此段・申上候、以上。

正月廿二日

三人 (117)

けまなひ村

無宿

繁藏

其方義、去ル午二月、拔參ニ出、無宿ニ相成・すり・い多し、去申十二月十二日、一ノ宮より無宿・義兵衛・同道い多し 御城下町・罷通のニ而御領内ニおいて惡事も不_ニ相聞_一候ニ付、安中領分・徘徊(118)「搦・追払。

一つき立町

無宿

義兵衛

其方義、去々未八月、拔參ニ出、無宿ニ相成・物貰い多し奈から・すりい多し御城下町・罷通候の巳領内悪事も不相聞ニ候ニ而、安中領分・搦・追払。

右者追払被ニ仰付ニ候ハ、書面之通・申渡候之様可レ仕哉。 (119)

一 右・兩人之者、所持之品・如何・取計可レ申候哉、尤・所持之品書・旧臘・差上候ニ付、此度・差上不レ申候、以上。

正月廿二日

三人

覚

一 入牢・申付置候・無宿之者、長谷川平藏様・御組・与力・藤川吉右エ門与申・仁・(120)「貫度由・内々・頼候様申聞候旨ルテ板鼻宿・亀之助、徳治郎与申者、伝馬町・牢番江申候由、問屋・内蔵之助より高橋大八方江申聞候ニ付、郡奉行書付・老通被ニ差越ニ・則・入ニ御覽ニ候処、左之趣被ニ仰出ニ候。

一 前文之儀、薄々・江戸江申遣候処、右・無宿・竹蔵、富蔵、久治、久米八・四人共(121)「内々・御渡可レ申候、尤・雜物等も取調・相渡可レ申旨被ニ仰出候、内蔵之助を以早々・板鼻江掛合可レ申候、若・板鼻ニ与力不ニ罷有一候ハ、近所ニ可ニ罷在ニ候間、懸合候様・御達可レ有レ之候。

一 繁蔵、義兵衛・輕罪之ものニ而追払之積、江戸表江伺置候趣ニ咄合候而、是も(122)「貫度趣ニ有レ之候ハ、可ニ引渡一候。

一 無宿共、申口之趣も咄置可レ申候、是又・被ニ仰出ニ候。

右之趣被_二仰出_一候間、奉行中江御達・御取計可有_レ之候、右御用向・早々・申遣候様被_二仰出_一候_二付、中間・老人、飛脚申付・今朝・出立為_レ致候付、覺書を以申入候、以上。

二月朔日

(123)

式左エ門

直右エ門

武右エ門殿

儀右エ門殿

長谷川平藏様・御組・与力・笹倉梁右エ門・并・御組・同心・
加藤幸右エ門、去 七日、内々・盜賊為_二請取_一、伝馬町・内藏之
助方江相越候節、勘左衛門致_二挨拶_一直ニ引取申候、御丁寧

二月朔日

マヤ
式右エ門

直右エ門

(124) (125)

武左衛門殿

儀右エ門殿

長谷川平藏様・御組・与力・笹倉梁右エ門・并・御組・同心・加藤幸右エ門・去ル七日、内々・盜賊為_二請取_一、伝馬

町・内藏之助方江相越候節（126）「申上、支度・申付・酒肴・差出候節、勘右エ門致ニ挨拶・直ニ引取申候、御丁寧之御儀・御役人中迄、宜・御礼申上候様、申聞、猶又・内藏之助江も右之段申候由、同人申聞候、此間不ニ申上候ニ付、此段・申上候、以上。

二月十二日

森本勘左エ門

套原十右エ門（127）

別紙・申上候・長谷川平藏様・御組・与力・笹倉梁右エ門江内々・掛合候者、領分之内、坂本宿与申所、旅籠屋久五郎与申者方ニ無宿・竹藏、富藏、久治、十一月廿八日、泊・翌廿九日、富藏不快之よし而泊・翌朔日、致ニ出立候由・御座候、右ニ付、久五郎・御呼出も可レ有哉旨・承候处、旅籠屋（128）「之儀、盗賊与不レ存留メ候得者・御呼出無レ之候・雜物等宿取計候得者、御呼出有レ之候旨・申聞候間・致ニ吟味ニ候处、泊候計ニテ雜物等セ話し多し候儀無レ之旨・申候旨・申候处、宿い多し方・惡鋪義も有レ之候得者、盗賊・偽申、宿為ニ呼出ニ候儀も御座候義も御座候由・御呼出無レ之旨・申候、（129）「猶又・梁右エ門聞候者、盗賊とも如何様申、遠国之もの共、呼出候義有レ之候而も可レ成ニ相計、御呼出無レ之、下之難儀無レ之様・御取斗被レ成候義・御座候旨、申聞候、尤・此度・無宿・六人之ものとも之義ニ付、御領分之内ニ懸り候義も有レ之、御呼出之義も有レ之候ハ、何分・取斗・御呼出無レ之様・可レ致旨（130）「申聞候間、砂降・後・甚ニ難儀ニ罷有間、百姓共候之間、万一・御呼出候義も有レ之候ハ、宜・取斗被レ呉候様・相頼申候。

一 私・内々申候者、領分近辺ハ官地等有レ之、賑鋪場所も有レ之、殊・往還筋ニ御座候故敷、胡乱ケ間敷者、領分江

折々・參候ゆへ、晝夜・御屋鋪廻り等・差出、村(131)「役人・始・小前之毛の共江も精々・申付置候得とも、怪敷者・相見候得者、召捕候義・御座候、吟味之上、御指出・相成、甚・難義致、重而此辺・御廻候へ、伝馬町・問屋・内藏助か多迄、為御知被下候様・致度候、其節・無宿召捕置候へ、御内々・御掛合申度旨・咄申候候、御差出被成候而者、彼は・御(132)「世話之儀、御決候、無宿召捕候へ、御内々・頭方江戸御役中御掛合候得者、何レとも被申候義ニ御座候、夫も御面倒之儀ニも御座候へ、御内々・拙者方迄、被仰聞候得者、随分・取計可申候旨・申聞候間、拙者方書状を以御頼申候者、隔候義ニ御座候間、江戸屋鋪(133)「懸り役人より御頼申候様可致候間、万一・右躰之儀も御座候へ、何分・宜・取斗呉候様・相糺申候。

一 梁右エ門、江戸住居・目白台御決候由。右之趣、咄合候ニ付、此段・申上候、以上。

二月八日

森本勘左エ門 (134)

長谷川平藏様・御組・与力江無宿・内々・相渡候義、書付

入牢申付置候・無宿之者、長谷川平藏様・御組・与力・藤川吉右エ門与申・仁・内々・貫度由、先達而申上候處、御達之趣・奉畏候。

一 右・同人様・御組・与力・笹倉梁右エ門・并・御組・同心・加藤幸右エ門・一時六ツ、板鼻宿・(135)「着・七日・伝馬町・内藏之助分江前広案内有之・四ツ時過・相越候ニ付、私・并・高橋大八、内藏之助江罷越・右・兩人江対談仕候而私申候者先達而吉左エ門殿・御内々・御貫被成度旨、内藏之助江御掛合之趣・致承知ニ薄々・江戸表江申遣候趣、相合申聞、無宿・竹藏、(136)「富藏、久治、久米八・御内々・御渡可申候、外ニ繁藏、儀兵衛義、

者、輕罪之毛のニ而、追払之積ニ江戸表江申聞候処、梁右エ門申候者御指出被成候而者、彼是・御セ話も御座候義、御内々・御渡候へ者、拙者共方、宜・御座候、此度・松平伊豆守様・御差囲ニ而所々・手分致、相廻り無宿・(137)「百人程・召捕申候、此方様ニ而被ニ召捕ニ置候・盜賊とも者、拙者共、召捕候・無宿共、掛合之ものニ御座候旁、拙者共、勝手尔者致、路次・捕致度旨・申聞候間、渡方之儀、打玉リ委細談シ候処、内々・繩付之辰ニ而請取可申旨、申候間、牢之前、木戸外ニ而御渡可申上候、尤・右・場所江私・参(138)」可申哉、是又・承候処・相越候ニ不レ及候旨・申候間、高橋大八・并・町同心・六人・差添、右・場所尔て無宿・六人・縄付候まゝ、相渡・雜物・取調書付・相添相渡申候。

一
御組・与力・并・同心衆・右・六人、無宿・請取・伝馬町・旅籠屋・又左エ門江被ニ召連ニ通・吟味請、無宿・六人・加藤桑右エ門・召連、同日、板倉宿(139)「相越候・笹倉梁右衛門、同日、松井田宿之方江相越候処、右・宿・往還通・字・下原と申所ニ而盜賊・老人・召捕候由、尤・今八月、一ノ宮江召連候処、宿役人とも申付、渠右衛門、明・暮六ツ時過、一ノ宮・相越候間、松井田役人・相届申候、依之此段申上候、以上。

二月八日

森本勘右衛門

(140)「(141)「(142)」

——完——